

第3学年1組 道徳学習指導案

日 時：平成29年12月6日（水）5校時

場 所：3年生教室

指導者：教諭 佐藤 咲子

1 主題名 弱い心・強い心 A－（5）希望と勇気，努力と強い意志

2 主題について

（1）ねらいとする価値について

本主題は、小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編によると、A「主として自分自身に関すること」の（5）と関連の深い内容項目である。

強いことや勝つことがよいことであると思われがちであるが、生活していく中で、負けたり、自分の思い通りにならない場面に直面したりすることの方が多い。誰もが弱い部分をもっており、本当の強さとは、自分の弱さを知って認めたり、克服するために努力をしたりすることであり、そういう人は、他人の弱さを認め、心の広い人であるということを理解させたい。

この時期の子どもは、自我が芽生え始め、互いに自分の言い分を通そうとするようになる。また、勝ち負けに関しても強いこだわりをもつようになる年齢でもある。こうした時期だからこそ、自分や他人の弱さを認めたり、弱さを克服するために努力したりすることが、本当の強さであるということをしつくり考えさせる必要があると考え、本主題を設定した。

（2）児童について

①意識調査の結果より

本学級は、男子6名，女子10名，計16名の学級である。ルールを守り，わがままをしないで生活しようという気持ちが育ち，明るく素直な児童が多い。

本時の授業を行うにあたって，関連する意識調査（10月実施）の結果は，以下の通りである。

項目 A（そう思う） B（どちらかといえば思う） C（どちらかといえば思わない） D（そう思わない）	A	B	C	D
自分でやろうと決めたことは，最後まできちんと行う。	8人	8人		
正しいと思うことは勇気をもって行う。	7人	9人		
自分の悪いところは直し，よいところは積極的に伸ばそうとする。	9人	4人	3人	
誰に対しても思いやりの心を持ち，親切にする。	5人	10人		1人
友達と仲良くし，お互いに助け合う。	14人	2人		
広い心を持ち，自分と違う意見や立場も受け入れることができる。	7人	9人		

本主題と関連する「主として自分自身に関わること」の「自分でやろうと決めたことは，最後まできちんと行う」と「正しいと思うことは勇気をもって行う」は全員が「そう思う」「どちらかといえば思う」と回答しており，肯定的に捉えているといえる。特に「正しいと思うことは勇気をもって行う」の項目は，5月に実施した時よりも「そう思う」と回答した児童が増えており，実践意欲が高まってきているといえる。「自分の悪いところを直し，よいところを積極的に伸ばそうとする」の項目では，「そう思う」「どちらかといえば思う」と回答した児童が13人と多いが，3人の児童が，「どちらかといえば思わない」と回答しており，自分のよいところや悪いところを明確にすることが必要であると考えられる。自分のよいところや悪いところをきちんとおさえ，本主題のねらいとする価値である「本当の強さ」とつなげていく必要があると捉える。

②自分の考えや意見を交流する様子より

自分の意見を交流する活動では、自分の考えをみんなの前で話したり、友達の意見を聞いたりすることがスムーズに行えるようになってきた。授業参観時において、「親子関係を見直そう」というテーマで親子で話し合う授業を行った。「どんな時にほめられるか、叱られるか」と児童の立場から発表した後、「どんな時にほめるか、叱るか」と親の立場から発表し、親子で和気相合とした雰囲気の中で話し合う機会を持つことができた。

道徳の授業では、「友達を大切にするって」とか「失敗した時はどうするか」など、児童間で意見を交流する活動を取り入れた問題解決的な授業を何度か行ってきた。友達と意見を交流させることにより、いろいろな考え方を聞いて自分の考えと比べたり、より深く考えたりする態度が見られるようになってきている。意識調査の中で「道徳の時間では、他の人の考えを聞きながら自分についてよく考えている」の項目でも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が高く肯定的である。自己評価の中で「話し合ったことをこれからの生活に活かしていきたい」と回答した児童が多く、学習したことを生活に活かしていこうという心情は育ってきていると考えられる。

(3) 資料について

①資料名 「おしえてウルトラマン」 出典：「みんなで考える道徳3年」 日本標準

②価値 A- (5) 希望と勇気, 努力と強い意志

(関連価値 善悪の判断, 自律, 自由と責任 親切, 思いやり)

③資料について

本資料は、けんかに負けてばかりの男の子の「ウルトラマンのように強くなりたい」という願いから始まる。しかし、実際のウルトラマンは、怪獣との戦いに負けることもあり、その経験から自らの心を成長させている。また時には悪いことをする怪獣の思いを知り、助けようとしたりもする。本資料を通して、相手をやっつけることだけが強いわけではないことを理解させ、自分の弱さを出し合い、「本当の強さ」とは何かを考えさせたい資料である。

④資料分析 (別紙)

(4) 指導にあたって

児童が主体的に話し合いができるように、何でも安心して話せるような雰囲気のあるクラス作りに努めてきた。本時では、資料を読んだ後に、自分たちで話し合いたいテーマを決めて、問題解決的な形態で授業展開をする。

導入の段階で、「自分は強いかな」という問いかけをし、心情円盤を使って自分の強さを明確化させる。展開の前半の段階では、資料を使って「ウルトラマンの強いところ」を確認させた後、本時のねらいである「本当の強さとは、自分の弱さを認めて克服するために努力をすることである」という方向性を示していきたい。展開の後半では、「本当の強さとはどういうことか」について、自分の事としてじっくり考えたり、友達の意見を聞いて自分の意見と比較しながら発表したりする時間を十分に確保するようにしたい。この時、本時の関連価値である「本当の強さは、思いやりや優しさである」とか「本当の強さは善悪の判断である」という多面的な考えも認めていく。まとめの段階で再度心情円盤を用いて、導入時と意見を交流した後ではどのように考えが変わったかなどワークシートに書かせるという流れで授業を展開していく。

(5) 宮城県学力向上に向けた5つの提言との関連

本主題では、「学力向上に向けた5つの提言」を踏まえて、次のような学習活動を設定する。提言1と2を踏まえ、児童に考えを積極的に発言させ、考えを取り上げて、ほめたり、認めたりする。提言4を踏まえ、友達との話し合いの後にワークシートに自分の考えを書く活動を設定し、振り返りをさせる。提言5を踏まえて、事前に資料を配付し、家庭学習で資料をじっくり読ませる。本時は

読み取りではなく、登場人物の心情を通して自分の考えを深めるようにさせる。

3 校内研究との関わり

(1) 研究主題

思いやりとたくましさを持つ児童の育成
～自他との対話の中で考えを深める授業実践を通して～

(2) 研究の視点との関わり

本授業は、本校の研究主題の中の「たくましさ」を受け、どんな困難にもくじけず明るく前向きに生きようとするしなやかなで柔軟性を持つ心情を育てることをねらったものである。

【視点1】 道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、考えを深める授業展開の工夫

①資料理解と課題意識を持たせるために、資料の事前読みを行う。

資料の事前読みを行い、ウルトラマンと自分の強さと弱さを書かせ、児童が主体的に話合いができるようにさせる。また自分たちで考えた課題の中から、話し合いたい課題を決めて話合いを進めるようにする。その際、課題に適したものを予め選び提示するようにする。

②課題に対して自分の考えを明確にするためにワークシートに書かせてから発表させる。

まとめの段階で、本時のねらいに迫ることができたか評価の手がかりとなるように書く活動を取り入れる。

③問題解決的な授業形態で友達との意見の交流の場を設定する。

自分や友達のことを視覚化させ、考えの変容が分かるように導入とまとめの段階で「自分は強いかな？」という問いかけをし、「心情円盤」を用いる。そうすることで自分の弱さなどの内面について多面的に考えさせ、価値の理解を深める機会を設ける。

【視点2】 意識調査、自己評価の活用の工夫

①毎時のワークシートは、「心のあしあとファイル」にファイリングし、児童自身も自己の成長や変容を自覚できるようにする。

②授業のまとめとして自己評価の時間を設定する。

学習を通して考えたことや分かったことを記入させ、これからの生活や学習に生かしているという気持ちを持たせるためにワークシートの形式を工夫する。

4 本時の指導

(1) ねらい

自分の弱さを受け入れることで、本当の意味での強さを知り、生活に生かそうとする心情を育てる。

(2) 準備物

①教師：掲示用さし絵 吹き出し ワークシート

②児童：心情円盤 筆記用具

(3) 指導過程

段 階	学習活動・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ◇評価 【■5の提言】 (視点1-① 校内研究の視点)
事 前	【家庭学習】 1. 資料を読む。 2. ウルトラマンと自分の強さと弱さをワークシートに書く。	○家庭学習で資料を読ませ、ウルトラマンの強さと弱さ、自分の弱さと強さをワークシートに書かせ、みんなで話し合いたい課題を考えさせる。 【提言5】

	<p>3. みんなで考えたい課題を考える。 【朝の活動】</p> <p>1. みんなで考えたい課題の中から本時の課題を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題について自分の考えを持つ。 	<p>○朝の活動で、児童から出された課題の中から本時の課題を選ばせ、主体的に話し合いができるようにその課題に対する自分の考えを事前に書かせておく。(視点1-①)</p> <p>○課題を提示する際は、課題を書くことが苦手な児童もおり、課題に適したものを事前に選んでおくようにする。</p>
<p>(本時) 導入 5分</p>	<p>1. 「自分の心は強いかな？」を心情円盤で表し、理由も発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とけんかして勝った時 ・兄弟とけんかして勝った時 ・嫌なことを言われても平気だからなど 	<p>○けんかに負けて悔しがっている「ぼく」を黒板に掲示し、本時のめあてにつなげるようにする。</p> <p>○気持ちの割合を表す「心情円盤」を各自に持たせ、自分の心の強さを考えさせる。</p> <p>○掲示用の心情円盤で「強いは赤」で表示するように指示する。</p> <p>○友達や兄弟でけんかになった時の勝敗などを想起させ、資料の「ぼく」の気持ちにも共感させるようにする。</p>
<p>展開 25分</p>	<p>2. 資料「おしえてウルトラマン」の話を聞く。</p> <p>3. ウルトラマンの強いところを確認する。</p> <p>〈強いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後は光線でやっつけるところ。 ・相手を完全にたおさないところ。 ・宇宙に逃がすところ。 <p>〈弱いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも勝つとは限らないところ。 ・3分間しか戦えないところ。 <p>4. 児童から出された課題について、児童間で意見の交流を行う。</p>	<p>○資料を、自分の事として考えさせるように挿絵や吹き出しなどを提示しながら、読み聞かせをする。</p> <p>○最初から光線でやっつけるのではなく、相手と戦って自分も傷付く場面や相手を完全に倒さずに宇宙に連れて行って逃がす場面から、「弱いことは悪いことではないこと」や「自分の弱さを素直に認める勇気をもつこと」が大切であることを資料で確認する。</p>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">課題 (例) 「ウルトラマンは本当に強いのか？」について考えよう。</p> <p>【予想される課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウルトラマンは本当に強いのか？ ・強くなるためにはどうすればよいのか？ ・弱いより強いほうがいいのか？ ・弱さや痛みを知っている人が優しくなれるってどういうことか？ 	<p>○課題を出した児童を指名し、課題を立てた理由や課題に対する自分の考えを発表させてから意見の交流を始める。</p> <p>○主体的に交流をさせるために事前に本時の課題について自分の考えを持たせ取り組ませる</p> <p>○円座になり、友達の意見を聞いたり、自分の考えを発表したり意見の交流をさせる。その時、友達の考えにからめて発表するように励ましていく。【提言12】(視点1-①③)</p> <p>◇自分の意見を発表することができたか。 (発言・表情)</p>

	<p>5. 自分の事として意見の交流を深める。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">本当の意味で「強い」とは、どんなことか考えよう。</p> <p>〈強いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で決めたことは続けてやるところ ・友達のいけないことを注意するところ <p>〈弱いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐに諦めてしまうところ ・決められたことを守れないところ ・勇気がないところ 	<p>○意見の交流の様子を見ながら、教師が本時の価値にせまる発問をし、「強さ」と「弱さ」は裏表であると感じさせる。</p> <p>○自分の「強さ」や「弱さ」を具体的に発表させ、本当の強さとは、どういうことかをじっくり考えさせる。</p> <p style="text-align: right;">(視点1-①③)</p>
<p>まとめ</p> <p>15分</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の「強さ」について再度考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の心の強さを心情円盤で表す。 <p>6. ワークシートに感想を書く。</p> <p>7. 自分の考えを発表する。</p>	<p>○意見の交流を通して、自分の心の強さや弱さを再度心情円盤を用いて表す。</p> <p>○家庭学習で考えた自分の強さや弱さについて再考させ、強い心を持って生活に生かしていくとはどのようなことか、ワークシートにまとめさせる。</p> <p>◇自分の弱さを受け入れて本当の意味での強さを知り、生活に生かそうとする気持ちを持つことができたか。(ワークシート・発表)</p> <p>○意図的に指名し、発表させる。【提言4】</p> <p>○友達の発表を聞いて、どのように感じたか広げていくようにする。</p>

(4) 評価の計画

- 自分の弱さを受け入れることで本当の意味での強さを知り、生活に生かそうとする気持ちを持つことができたか。(ワークシート・発表・自己評価)

(5) 板書計画

⑥	⑤	④	③	②	①	おしえて ウルトラマン
自分			ウルトラマン			強さ